

## U S A E C からの分離安定同位体の借用について

百田 光雄 (日本原子力研究所)

核データ測定のための試料として用いる分離安定同位体を U S A E C の Stable Isotope Cross Section Research Pool から借用することが可能であることは既に本誌第 1 号 p. 32 (1966 年 3 月) で紹介された。今まで借用料のことが必ずしも明確でなかったが、第 9 回の E A N D C の会議で討議された線が、(本誌第 2 号 p. 30, 1966 年 7 月), U S A E C によって承認された旨、第 10 回の E A N D C の会議で報告された。すなわち、U S A E C は E A N D C の測定要望課題リストに収録されている測定を行なうことを目的とするばあいについてはサンプルを無料で貸与することができる。(カテゴリー I の測定)。その他要望課題リストの測定に関連あるもの(カテゴリー II の測定)のばあいには、通常の使用料をとって、サンプルを貸与することができる。(この使用料については本誌第 1 号 p. 32 参照)その他のばあい(カテゴリー III の測定)はサンプルは売却となる。カテゴリー I, II の認定は E A N D C の委員全員の意見によって行なわれる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆